

平成27年 第1回

渡島西部広域事務組合議会

し尿処理施設整備に関する調査特別委員会 会議録

平成27年12月4日 開会

平成27年12月4日 閉会

渡島西部広域事務組合議会

会議録の作成にあたっては、誤りのないよう注意しておりますが、時間の関係上、原稿校正は初校よりできなく、誤字、脱字がありますことを深くお詫び申し上げます。

誠に恐れ入りますが、この点ご了承の上、ご判読いただきたくお願いいたします。

渡島西部広域事務組合議会
し尿処理施設整備に関する調査特別委員会

委員長 又地 信也

目 次

平成27年12月4日（金曜日）第1号

○会議に付した事件	1頁	
○出席委員	1頁	
○欠席委員	1頁	
○出席説明員	1頁	
○職務のため出席した議員	1頁	
○出席説明員	1頁	
○職務のため出席した議会事務局職員	1頁	
○開会・開議宣告	2頁	
○管理者あいさつ	2頁	
○調査付託事件	し尿処理施設整備に関する調査について (ストックヤード整備に関する経緯と実施設計の状況について)	2頁
○継続調査の議決	5頁	
○閉会宣告	5頁	

平成27年 第1回

渡島西部広域事務組合議会

し尿処理施設整備に関する調査特別委員会

平成27年12月4日（金曜日）第1号

◎会議に付した事件

調査事件 し尿処理施設整備に関する調査について
(ストックヤード整備に関する経緯と実施設計の状況について)

◎出席委員（11名）

委員長	又地 信也（木古内町）	委員	堺 繁光（松前町）
委員	佐藤 孝男（福島町）	委員	福嶋 克彦（木古内町）
委員	手塚 昌宏（木古内町）	委員	花田 勇（福島町）
委員	吉田 峰一（知内町）	委員	西村 健一（松前町）
委員	谷口 康之（知内町）	委員	伊藤 幸司（松前町）
委員	伊藤 政博（知内町）		

◎欠席委員（0名）

◎職務のため議場に出席した議員

議長 溝部 幸基（福島町）

◎出席説明員

管 理 者	鳴海 清春	副 管 理 者	高木 壽
参 与	石山 英雄	参 与	大野 幸孝
参 与	大森 伊佐緒	幹 事	若佐 智弘
幹 事	網野 眞	幹 事	大野 泰
監 査 委 員	本庄屋 誠	事 務 局 長	中島 和俊
衛生センター長	田中 一郎		

◎職務のため議場に出席した議会事務局職員

事務局次長	西田 啓晃	書 記	梅岡 忍
書 記	鳴海 千草		

◎開会・開議宣告

○**委員長（又地信也）** 只今から会議を開きます。只今の出席委員は11名で半数に達しており、会議は成立いたしました。よって、し尿処理施設整備に関する調査特別委員会を開会いたします。

本日の会議の進め方について、お諮りいたします。

本件に係る資料につきましては、各委員皆様のお手元に事前に配付されておりますので、資料に基づいて説明を受けたいと思います。

その後、委員各位から質疑及び意見交換を行いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声多数あり）

○**委員長（又地信也）** 異議なしと認めます。

よって、只今お諮りいたしましたとおり、会議を進めることに決定をしました。

◎管理者あいさつ

○**委員長（又地信也）** 案件の調査に入る前に、管理者より申し出がありますので、挨拶を行います。
鳴海管理者。

○**管理者（鳴海清春）** 平成27年第1回し尿処理施設整備に関する調査特別委員会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。委員の皆様には、第3回定例会に引き続き、大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日の調査事件は、し尿処理施設整備状況に関する調査についてで、内容は、ストックヤード整備に関する経緯と実施設計の状況についてとなっております。

なお、ストックヤード整備に関しましては、11月17日に設計業者から実施設計金額が示されたところであります。

ストックヤード整備に関しましては、私が管理者に就任して事務引継ぎを受けた時点では、1億7,600万円程度の額となっておりますが、すぐ担当者に事業の圧縮の検討をするように指示をし、副管理者を中心に事業の見直しの検討に着手し、現在に至っております。

私は、就任時の議会でも述べさせていただきましたけれども、し尿、ごみの業務におきましては、構成町から負担金をお預かりして仕事をしているという意識の下、広域行政の真の目的であります経済的な事務の効率化を目指すのが、本来の姿だと認識しております。

よって、行政報告でもご説明しましたように、有利な補助制度等を活用しながら、構成町の財政負担の軽減を図るため、さらに施設の規模及び形状等に関しまして再検討をいたしたく、本特別委員会で協議をお願いするものであります。

この後、調査事件の内容に関しまして、担当者から詳しく説明いたしますので、何卒ご審議方よろしくお願ひ申し上げます。

どうぞ、よろしくお願ひいたします。

○**委員長（又地信也）** 管理者の挨拶を終わります。

◎調査付託事件 し尿処理施設整備に関する調査について
(ストックヤード整備に関する経緯と実施設計の状況について)

○**委員長（又地信也）** これより案件の調査を行います。

し尿処理施設整備状況に関する調査について、内容の説明を求めます。田中一郎衛生センター長。

○衛生センター長（田中一郎） お手元の資料と別紙資料に基づき内容を説明いたしますが、説明前に資料の訂正をお願いします。

資料1ページの「3 実施設計委託業務の状況について」の、表中の財源内訳の訂正ですが、衛生負担金の8万円を21万円に、過疎債の9千13万円を9千万円に、訂正をお願いいたします。過疎債の充当が10万円単位であるということから、訂正するものです。

それでは、資料の1ページから、ご説明させていただきます。

1の整備に係る経緯について

ストックヤードの整備に関しましては、平成22年度から平成26年度までとしていた循環型社会推進地域計画を、2カ年延長し平成28年度までとし、今年度、旧し尿処理施設の解体を終了し、来年度のストックヤード整備に向けた実施設計を進めているところです。

2 平成26年度第3回調査特別委員会での説明内容について

昨年12月開催の調査特別委員会では、建物の建物規模を440㎡、総事業費を1億7千615万6千円、財源内訳については、構成町が負担する衛生負担金を15万6千円、循環型社会推進交付金を5千870万円、過疎債を1億1千730万円としておりました。

3 実施設計の委託業務の状況について

11月17日現在、設計会社から示された設計内容について、説明します。

建物の規模は435㎡、総事業費は1億3千283万円であります。

総事業費に係る財源内訳は、衛生負担金が21万円、循環型社会推進交付金が4千262万円、過疎債が9千万円となります。

ここで、別紙説明資料をお願いします。

1ページをお開きください。

この1ページは、現段階における実施設計の規模と内容を、記載しております。

建物面積は435㎡、土木工事は4,642㎡で、外構等の内訳は記載のとおりとなっております。

また、総事業費の1億3千283万円の内訳は、建物や外構、公園に係る事業費が1億2千786万2千円、施工監理費が496万8千円であります。

なお、資料の2ページから4ページにかけての図面については、現段階のストックヤードの配置図と平面図、立面図、断面図でございます。

1ページに、お戻りください。

4のストックヤードの形状見直しについて

現時点の実施設計では、昨年12月時点より4千332万6千円の総事業費の減となっておりますが、施設の規模等を検討し、構成町の財政負担を、さらに軽減したいと考えているところです。

(1) 施設形状等の変更について

別紙資料の3ページと4ページをご覧いただきたいのですが、3ページの平面図、4ページの断面図、それぞれに赤い斜線で標記している部分について、ご説明申し上げます。

現在、実施設計を進めている施設は、施設中央部に幅約10m、長さ約20mの搬出入用車両の通路兼作業スペースを設け、その両側に種別毎のヤードを配した屋根付きの435㎡の施設であります。

今回の施設形状等の変更につきましては、現在、既存施設の車庫2ヵ所と、リサイクルプラザ内の作業スペース、合わせて3ヵ所に分散しているリサイクル品の搬出入作業を、一カ所に一括集約し、作業効率を高めるとした、本来の目的を重視し、種別毎のヤードのみを直線的に配した施設にしようとするものであります。

別紙資料のこの5ページを、ご覧いただきたいと思っております。

5ページの図面は、只今説明したストックヤードを、白抜きで直線的に配した長屋式の施設をイメージしたものです。これにより、現段階の施設で予定しておりました、施設中央部の通路兼作業スペースの鉄骨及び屋根部分の建築費を削減してまいりたいと考えております。

なお、長屋式の施設形状にした場合であっても、各リサイクル品の収蔵スペースについては、当初に設

定した規模を確保することにしております。

また、公園部分については、これまで芝張りカラーブロック張りとして説明してはいましたが、工事費及び将来的な維持管理費の削減を目的に、芝張りは行わず、知内町で生産するウッドチップの敷き込みを検討する事としております。

(2) の設計内容変更に伴う交付金及び記載についてですが、

当該施設は、平成26年度に期間延長した「渡島西部地域循環型社会形成推進計画」に基づき、今年度、旧し尿処理施設の解体及びストックヤードの実施設設計を完了し、来年度、ストックヤード本体を整備するスケジュールとして、一連の作業を進めてまいりました。

今回、提案する施設形状等の変更につきましては、事業年度を変更しない内容であることから、従前同様、国庫支出金及び過疎債の対象となるものです。

5のストックヤード整備に向けた今後の予定ですが、

今後の予定としては、今月中旬までに、当組合内部の施設形状変更に係る内容検討を完了した上、下旬までに設計会社と協議・確認を終える予定としております。1月以降、順次、設計会社において設計図や工事費の確定を進め、3月の建築確認申請書の作成、提出を予定しているところです。

なお、設計や事業費の積算状況を見ながら、2月に「し尿処理施設整備に関する調査特別委員会」を開催いただき、施設配置や総事業費について、ご審議いただきながら、予算の計上等を進めてまいりたいと考えております。

また、事業費の計上時期につきましては、設計内容が確定した後の対応となることから、早ければ当初予算の計上に、間に合わなければ、新年度早々に臨時会をお願いした上で補正対応となりますことを、あらかじめご了解いただきたく、お願いいたします。

次に、新年度に入ってからのご予定でございますが、

建築確認の許可日につきましては、予測を立てにくい状況ですが、現段階では、4月下旬に建築確認の許可をいただき、5月以降、入札参加資格選考委員会を開催し、入札を執行、臨時議会で契約議決等を経て、概ね7月から12月ごろまでの約5ヶ月間を工期として、当施設の整備を進めたいと考えているところです。

以上で、説明を終わらせていただきます。

ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

○**委員長（又地信也）** 説明が終了しましたので、これより質疑を行います。質疑ございませんか。

○**委員長（又地信也）** 9番、伊藤委員。

○**9番（伊藤政博）** ちょっとお尋ねします。考え方は、非常に良い方向だと思っています。

ただ1つだけお尋ねしたいのはですね、ウッドチップの、今まで芝張り、これからウッドチップ、それから、ストックヤードが出来る部分、かなり大きな面積があるわけですよね。今、今後の建設計画、何もありませんけれどもね、外にですね。こういう広い敷地の真ん中に、ストックヤードを作っちゃうんで、もっとどちらかに寄せることによってですね、将来的に何か新たな物を建てる場合にですね、スペースとして確保していく必要があるんでないのかと、そんな気もするんで、あまりに広い敷地の中にポット、あんまり真ん中過ぎるような気がするんですが、その辺について、お考えを伺います。

○**委員長（又地信也）** 田中衛生センター長。

○**衛生センター長（田中一郎）** 委員、仰ること、ごもっともな訳でございますが、大きな財源となるのが過疎債の手当でありまして、この旧し尿処理施設の貯留施設部分に車の進退入路を含めて、施設全体がかかっているということが絶対条件でございますので、このような配置にならざるを得ないということで、ご理解いただきたいと思います。

○**委員長（又地信也）** 外に質疑ございませんか。

（「なし」との声あり）

質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

◎継続調査の議決

○委員長（又地信也） お諮り致します。本日の会議はこの程度に留め、只今議題となっております本調査は、さらに調査が必要と思われまますので、継続調査をすることにいたしたいと思ひますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声多数あり）

○委員長（又地信也） 異議なしと認め、本件については、継続して調査する事に決定いたしました。

◎閉会宣告

○委員長（又地信也） これで、本日の会議を閉会いたします。

どうもご苦勞様でございまして。

（閉会 15時59分）

渡島西部広域事務組合議会特別委員会条例第22条の規定により署名する。

し尿処理施設整備に関する調査特別委員会

委員長 又 地 信 也